

普及活動情勢報告（平成29年7月分）

高吾農業改良普及所

さんさん市出荷部会が出荷量アップに向け活動中



日高村の直販所「村の駅さんさん市」では部会員の高齢化による会員数の減少が問題になっています。7月12日に出荷部会臨時役員会を行いました。新部会員確保のため定年退職者を対象に8月22日から翌年5月にかけて全5回の野菜栽培講習会を開催することになり、講習内容や品目について協議しました。
この講習会は講師がベテラン部会員で、参加者に対して栽培技術に限らず総合的なフォローをするのが特色です。普及所は、講習会で作物の栽培管理や肥培管理、病虫害防除を中心に支援していきます。

シンガポールからバイヤーがJ Aコスモス日高支所トマト選果場を訪問



日高村の特産品であるシュガートマトは、販路拡大に向けて海外輸出を検討しています。7月7日にはシンガポールからのバイヤーがJ Aコスモス日高支所トマト選果場を訪れました。出荷ラインの見学やシュガートマトの試食の後、海外の消費者に好まれる糖度や大きさ、荷姿について話し合いました。特に鮮度については実際に輸送が可能かどうか試験することになりました。
これからも普及所は産地や園芸連と連携し、地域の特徴のある農産物の販路拡大を支援していきます。

佐川町で露地シシトウの収穫が始まりました



J Aコスモス斗賀野支所は7月3日に露地シシトウの目慣らし会を開催し、9戸の農家が参加して出荷規格を確認しました。普及所は栽培管理指導に加えて収穫後の品質管理を指導しました。また、台風対策を徹底して収穫期間を長くするように呼びかけました。露地シシトウの生産者は高齢者が多く、農家からは「目が見えづらくてパック詰めが大変」との声がありましたが、品質向上に向けて活発に意見交換をしました。
今後も普及所は、栽培管理や品質管理について指導し、露地シシトウの安定生産を支援していきます。

平成29年度第1回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催しました！



6月28日高吾農業改良普及所で、高吾地区農業改良普及推進協議会を開催し、協議会構成員20名が参加しました。普及所は今年度の普及計画を説明し、普及活動の進め方について意見交換しました。
協議会構成員からは、「部会の活性化を図りたい、そのために若い人の意見を聞きたい。」「経営改善指導は続けてもらいたい。」等活発に意見が出ました。
普及所は、構成員の意見や要望を活動に活かし、普及活動の充実を図っていきます。

はちきん農業大学（高吾地区） はじまる



普及所は、はちきん農業大学の高吾地区講座第1回目を7月21日に開催し、女性農業者を中心に10名が参加しました。農業会議が農業者年金について、普及所が認定農業者制度と家族経営協定について説明しました。

参加者は「老後に漠然とした不安を感じていた。息子の農業者年金加入を検討してみたい」「協定を見直したい」等の声がありました。

普及所は、8月以降に労務管理や農業基礎講座、経営に関する講座を順次開催していきます。

ピーマンの土着天敵採取 ～タバコカスミカメの定着に向けて～



J A コスモス管内の雨よけピーマン生産者の中で土着天敵利用への関心が高まっています。普及所は4月に続いて6月30日に土着天敵のタバコカスミカメ採取会を開催し、参加したピーマン農家2戸に対して採取・放飼方法や農薬管理について情報提供しました。

参加者は訪れたシシトウハウスでのタバコカスミカメの活躍に、「こんなに増やすことができるのか」と驚きながら採取していました。

普及所は、今後も土着天敵を利用した栽培技術の定着を進めるとともに、温存方法や確保について支援していきます。